



スマートフォンで
広報たじみを
持ち歩ける!

編集発行 多治見市役所 企画部 秘書広報課
〒507-8703 岐阜県多治見市日ノ出町2丁目15番地 開庁時間 8:30~17:15
TEL 0572-22-1111 FAX 0572-24-3679
E-mail: hisyokoh@city.tajimi.lg.jp http://www.city.tajimi.lg.jp/



多治見市緊急メールに登録してください
携帯電話に緊急情報を送信します
https://service.sugumail.com/tajimi



▲甘原町のもみじ畑で葉を収穫する本間さん。木によって収穫のタイミングは異なるため慎重に見極める



▲青い葉より赤い葉の方が「コリラジン」の含有量が多い。劣化が早いので、収穫後は至急加工を行う



▲もみじの持つ形、色、風味、機能性の特徴が生かされた商品。日本の象徴的な植物として需要があるため海外にも卸している

SPECIAL TALK



輝く技術

もみじの持つ特徴

形、色、風味、機能性を

商品に生かしたい



ほんま あつし
本間篤史さん

もみじかえで研究所
代表取締役

東京水産大学（現東京海洋大学）の研究室で糖尿病に効く成分を探していたところ、研究室の外に植樹してあったもみじを試したら、偶然、ポリフェノールの一種で「コリラジン」という生活習慣病に効果がある成分を発見しました。コリラジンには活性酸素を取る作用（抗酸化作用）もあり、アンチエイジングも期待できます。何とかこれを機能性食品として世に広めたいと思いました。

平成23年に会社を立ち上げ、多治見市の起業支援センターのBI（インキュベートルーム）に5年間入居しました。この頃から多治見産のもみじを自分の手で育てたくて土地を探していましたが、甘原町で貸していただけることになったので拠点を移しました。

もみじの効能を最大限に引き出すために、使用するもみじは厳格に品種選抜し無農薬栽培をしています。葉は時期を見極めて一枚ずつ手摘みで丁寧に収穫し、劣化する前に素早く加工します。商品は大きく分けて、もみじエキス、もみじ茶、もみじ・かえでの葉の3つに分類できます。もみじの持つ形、色、風味、機能性の特徴がそれぞれの商品に生かされています。特に、今はもみじの葉の形を生かした商品開発に力を入れています。将来は、「さくら」に並ぶ商材にしたいです。

人口と世帯数の動き

平成30年8月1日現在

総人口

111,233人 (前月比 -2人)

男 54,060人 (前月比 +1人)

女 57,173人 (前月比 -3人)

世帯数

46,408世帯 (前月比 +56世帯)



文化財み～つけた 百度石 平野町(金力比羅神社)

百度石は神社・寺院の境内に建てられており、拝堂と百度石の間を百往復して願掛けをする「お百度参り」の際に使われました。お百度参りは百日間毎日お参りするものでしたがそのうち簡略化され、百日ではなく百度お参りするという形になりました。多治見市内には明治～昭和期に建てられた百度石が多く見られます。